

数理計画法研究会 (RAMP) 報告

01001374 京都大学 茨木 俊秀 IBARAKI Toshihide
01012143 名古屋市立大学 茨木 智 IBARAKI Satoru

1 はじめに

RAMP (Research Association of Mathematical Programming; 数理計画法研究会) は、1988 年に
行われた国際数理計画法シンポジウムの剰余金を
もとに、その翌年設立された日本 OR 学会の特設
研究部会です。最初の 5 年間の主査は今野 浩先生
でしたが、現在は以下のようなメンバーで 1994 年
から運営をしております。RAMP シンポジウム、
RAMP セミナー、月例研究部会等の開催を通じて、
数理計画法の理論、応用、ソフト開発等に関する
研究普及活動を行っています。また、会の運営にあ
たっては、広報のためにニュースレターを発行し、
RAMP セミナーなど若手研究者の育成のための特
別な配慮を行ってきました。なお、私たちが運営
してきた RAMP も 5 年目を迎え、現在の形での
RAMP は今年度をもって終了することになってお
ります。この機会に、この場を借りて、RAMP の
5 年間の活動をまとめて報告いたします。

2 運営組織 (1994 - 1998 年度)

主査：茨木 俊秀
顧問：伊理 正夫、刀根 薫、今野 浩
運営委員：矢部 博、山本 芳嗣、福島 雅夫、
石井 博昭、加藤 直樹、小島政和、鈴木久敏
会計：田口 東
監査：森戸 晋
幹事：茨木 智

3 活動状況

3.1 RAMP シンポジウム

我々の活動の中心である RAMP シンポジウムは、
毎年一度秋に開催されてきました。各シンポジウ
ムは 4 つのセッションから構成されており、一つの
セッションでは数理計画の理論、応用、ソフト開発

等をカバーする様々なテーマの下に、4 件程度の講
演を組んでいます。魅力あるセッションを作ってい
ただいたオーガナイザーの方々、そして発表を快
くお引き受け下さった講演者のご努力のおかげで、
毎回最新の興味深い研究報告を聞くことができ、熱
心な討議も行われて、新しい数理計画の展開、展望
を知る上で大きな役割を果たしてきました。以下に
各シンポジウムの実行委員長、およびセッション名
(括弧内はオーガナイザー) を記します。ただし、以
下いずれも敬称は略します。

第 6 回 (1994/11/24-25) [大阪工業大学]

実行委員長 石井博昭
数理計画一般 (大山 達雄)
数理計画の応用 (米山 寛二)
確率システムとその最適化 (寺岡 義伸)
社会現象と数理計画 (田畑 吉雄)

第 7 回 (1995/9/21-21) [東北大学青葉記念会館]

実行委員長 武藤滋夫
組合せ・離散最適化 (中山 明)
数理計画の応用 (森戸 晋)
社会システムと数理計画 (大山達雄)
非線形最適化とその周辺 (田中 環)

第 8 回 (1996/9/19-20) [東京大学山上会館]

実行委員長 伏見正則
計算幾何学 (今井 浩)
数理計画の応用 (鈴木 久敏)
数理計画一般 (加藤 直樹)
ファイナンス (岸本 一男)

第 9 回 (1997/9/25-26) [広島大学経済学部]

実行委員長 平木秀作
汎用組合せアルゴリズム (茨木 俊秀)
数理計画の応用 (木瀬 洋)
DEA (刀根 薫)
ファジィ数理計画 (坂和 正敏)

第10回(1998/9/24-25)(予定)[京大会館]

実行委員長 福島雅夫

離散・組合せ最適化(室田 一雄)

制御理論と最適化(山本 裕)

最適化の産業への応用(野村 淳二, 田村 担之)

線形非線形最適化(土谷 隆)

3.2 RAMP セミナー

このセミナーは、企業の若手の方々および大学院修士課程クラス(新4年生も含む)の学生を主な対象として、毎年1回春に開催してきました。数理計画の分野の中から重要なテーマを1つ取り上げ、1泊2日で基礎から応用までを体得してもらうことをねらいとしています。このセミナーの特徴として、事前にテキストの配布を行うことによって、参加者の予習に役立て、また各先生が他の先生の内容を事前に知ることによって、全体として連携のとれたセミナーになるように試みてきました。さらに、遠方から参加の学生には、旅費の補助を行ってきたことを付け加えておきます。

第4回(1994/4/7-8)[防衛大学校]

実行委員長 猿渡 康文

テーマ「非線形計画法」

講師：福島 雅夫, 八巻 直一, 石川 信隆.

第5回(95/4/6-7)[新潟大学]

実行委員長 田中 謙輔

テーマ「メタ・ヒューリスティクス」

講師：茨木 俊秀, 玉置 久, 中野 秀男, 久保 幹雄.

第6回(1996/3/18-19)[住友金属住吉研修所]

実行委員長 寺岡 義伸

テーマ「線形計画法とその周辺」

講師：石井 博昭, 水野 真治, Milan Vlach.

第7回(1997/3/13-14)[南山大学]

実行委員長 鈴木 敦夫

テーマ「数理計画法・計算幾何学」

講師：大屋 隆生, 土谷 隆, 杉原 厚吉, 今井 浩.

第8回(1998/3/30-31)[福島ビューホテル]

実行委員長 中山 明

テーマ「ネットワークの理論と応用」

講師：繁野麻衣子, 岩田 覚, 伊藤 大雄.

3.3 定例の研究部会

1994年4月から1996年2月までは主査 矢部 博, 幹事 伊藤 聡, 1996年4月から1998年2月までは主査 水野真治, 幹事 伊藤 聡, 1998年4月からは主査 田村 明久, 幹事 塩浦 昭義によりRAMP月例研究会が行われてきました。スペースの都合上, 講演会の回数のみを書いておりますが, 1994年度は9回, 1995年度は8回, 1996年度は5回, 1997年度は6回開催されています。発表内容は, 線形計画問題・2次計画問題・相補性問題・組合せ最適化問題等に対する解法の研究から, ポートフォリオ配分・VLSI設計・施設配置等の実際的な問題への応用まで広範囲に渡っています。またニューラルネットワーク・遺伝的アルゴリズム等関連分野の研究の発表も行われました。

3.4 若手渡航費援助

RAMPでは、毎年数理計画法の分野で優れた研究を行った若手研究者に対して、その研究成果を海外の研究集会等で発表する際に必要となる旅費の一部を補助してきました。この間、1994年度は、久野 誉人, 関谷 和之, 村松 正和, 岩田 覚, 1995年度は伊藤 聡, 施 建明, 新森 修一, 1996年度は榊原 賢治, 森田 浩, 伊藤 健の皆さんに援助をいたしました。1997年度以降は、RAMPの財源の関係上、この援助は打ち切られましたが、ちょうど1997年度から、OR学会40周年記念行事の一環として、OR学会全体の企画として、若手に対する渡航費援助が実施されています。

4 おわりに

先にも述べましたように、現在のRAMPは本年度(来年3月)で終了いたします。皆様方のこれまでのご援助ならびにご協力に厚くお礼申し上げます。なお、RAMP会員の総意として、適当な形でRAMPの活動を継続したいという点は一致しており、新しい組織と活動計画を近い内に固める予定でありますので、今後とも変わらぬご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。